



# 担い手サポート通信

JA福井県五連組合員トータルサポートセンター農業支援課

(福井市大手3丁目2番18号 TEL:0776-27-8215 E-mail:noushien@chu.ja-fukui.or.jp)

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



## 担い手対応レベルアップ(3STAC)講習会 開催



昨年度に引き続き、当センターでは、高度な経営指導ができる担い手担当者の育成を目的に、「担い手対応レベルアップ(3STAC)講習会」を開催しています。

その第2回・第3回として、7月10日から2日間はアグリビジネスソリューションズ(株)より税理士 西山由美子氏を講師に向かえ、農業経営分析と分析提案書の作成についての講習を受けました。経営提案に必要な「貸借対

照表」や「損益計算書」の役割やその活用方法等、講師の西山氏の解説が分かりやすく、参加者からは「苦手意識が無くなった!」との声もありました。

続けて、8月8日には第4回として、社労士の武市淳氏を講師に迎え、労務管理について講習を受けました。武市氏からは、「現在は働き方改革などで、労務管理が特に注目されており、就業規則の定めを再度見直すことが重要。農業者が長く働くために、適正な労務管理を行ってほしい」などと述べ、実践的な労務管理について説明を受けました。参加者からは「非常にためになった!」と好評を得ました。受講生たちはこれから本格的に提案活動に入っていきます。農業者の所得向上のため、どんな提案になるかが期待されます。



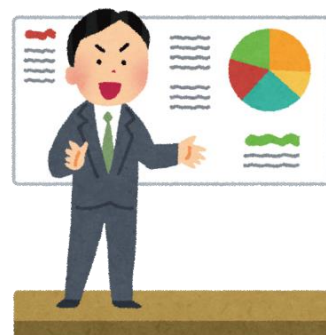
# 担い手向け研修会

## 永平寺



8月14日、JA永平寺にて担い手農家を対象とした研修会が行われ、管内の担い手農家約30名が参加しました。講習では、福井農林総合事務所から次年度の作付けに向けた小麦の栽培管理について説明がありました。特に適期・適量播種の方法や、排水対策の徹底を促しました。

次に、当センター農業支援課の斎藤啓一課長より手引きを基に「事業承継」について講習を行いました。「計画的



に手続きを行っていくことや後継者と話し合うことが重要。他人ごとと考えず、真剣に考えてほしい」などと話し、集まった参加者らはメモをとるなど熱心に聞き入っていました。



## 福井市南部



8月30日、JA福井市南部本所にて担い手農家を対象とした『大麦栽培講習会・担い手グレードアップ研修会』が行われました。

講習では、農林総合事務所より収量・品質の向上にむけた大麦栽培のポイントを説明。また、収量低下につながる帰化アサガオ防除を呼び掛けました。

次に、北陸クボタ福井事務所よりドローンの活用について説明を受け、ラジコンヘリとの違いや農業利用のルールや散布方法などを説明。福井県内ではドローンの販売台数は増加しており、今後もドローンの活躍

する機会が益々増えていくことが見込まれています。

# ふくい米初出荷セレモニー

8月20日、JA福井市東部農業施設センターにて『2019年度産福井米の初出荷式』が行われました。JA福井県五連を代表し、田波会長は「来年は合併し、大きな組織になるので、組合員の負託に応え、福井米をしっかりと販売していきたい」と推進しました。経済連より「心配された胴割れや乳白米は少なく、平年並みの収量を見込んでいる。品質も良好で、検査した全量が一等に格付けされた」と報告がありました。福井米をPRするライスレディからは、「安全・安心な福井米を全国各地に広め、ふくい米のおいしさをたくさんの人に知ってもらえるように頑張ります」と宣言し、紅白鎌を手に持ち、テープカットならぬ“わら縄カット”でお祝いを行いました。その後、新米を乗せたトラックが関西方面へ出発しました。



## 米集荷推進運動



県下各JAにおいては、7月から9月にかけて、今年度産米の集荷運動に取組み、役職員らが農家へ訪問しJAへの出荷を呼びかけました。

JA福井市では7月29日～8月6日にかけてTACを中心に45件を訪問。そのうち8月5日には、美山管内において、JA福井市の寺井敏高会長とTAC、当センター職員らが同行し、管内農家を巡回しました。今回の集荷運動では、県内全体で約180件訪問



し、生産者からは「例年よりも収量が良さそう。JAへ出荷するので、よろしくお願いします」や、「薦めて頂いた農薬のおかげもあり、今年は稲が病気にならず、かなり生育が良い」など様々な声を頂きました。



すべては、美味しいお米づくりのために。

# 土を変えよう!

## 土づくり肥料の施用で地力アップ!

暖かい時期にやるからこそ意味がある! 寒い時期は微生物の活動が鈍り、稲ワラの腐熟が進みません。

# +

## 稲ワラを鋤き込む秋の田起こし!

土づくり効果  
3つのポイント

①



登熟が向上し、米の粒張りや品質が良くなる!

②



病害虫に対する抵抗性が強まる!

③



倒伏に強くなる!

福井県JAグループ



応援します！

保証料負担



農家のみなさんを

円

2019年  
お借入期間 1月4日金 ▶ 12月30日月

※条件変更等により保証料の追加が発生した場合、追加分についてはお借入者の負担となります。

### 地域農業応援資金

ご融資金額 事業費の100%の範囲内かつ  
5,000万円以内

ご融資期間 25年以内 | ご融資方法 証書貸付

ご利用いただける方 ●組合員 ●組合員の組織する団体、法人

お使いみち  
①設備資金  
○農地取得・改良・造成 ○農機具の購入等  
○農業用施設等の建設 ○発電・蓄電設備機器の購入  
②運転資金

固定金利  
当初  
3年間  
年 0.2%  
お借入金額  
100万円以上  
の場合

(JAバンク利子補給後金利) ※4年目以降の金利については、JA所定の金利となります。

### 農業近代化資金

ご融資金額 個人…1,800万円以内  
法人・集落営農組織等…2億円以内  
農業参入法人…1億5千万円以内

ご融資期間 15年以内 | ご融資方法 証書貸付

ご利用いただける方 ●組合員 ●組合員の組織する団体、法人  
※別途所定の条件がございます。

お使いみち  
①設備資金  
○農機具・農舎等の取得・改良・復旧 ○果樹等の植栽・育成  
○1,800万円以内の小規模な農地改良等  
②運転資金

固定金利  
当初  
5年間  
年 0%  
お借入金額  
100万円以上  
の場合

(JAバンク利子補給後金利) ※6年目以降の金利については、JA所定の金利となります。

#### 担保および保証

福井県農業信用基金協会の保証をご利用いただけます。  
また必要に応じて、担保・保証人をいただく場合がございます。

#### お申込み時にご用意いただくもの

●事業費を確認できる書類(事業計画書、設計書、見積書など)  
●その他JAが必要とする書類

#### 保証料支払方法

一括前払いのみ

※繰上返済を行なう場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。※ご返済額の試算については、店頭へお申しつけください。※詳しくは、店頭へお申しつけください。

ちょリスのチョイス!

©ちよリス

JAバンク

福井県JAバンク

検索



# 共済連

個人農家

農業法人

集落営農組織

JA共済

## 農作業中傷害共済／ 特定農機具傷害共済

必ずお読みください

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意事項等）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



## 農作業中のケガへの保障も充実

JA共済では、農作業中の事故によりケガまたは死亡された場合の保障として、「農作業中傷害共済」と「特定農機具傷害共済」をご用意しています。

### 農作業中傷害共済

記名被共済者またはその家族や雇用されている方が、農作業中の事故によりケガをされたり、死亡されたりした場合に共済金をお支払いします。



1

保障の対象になる方（被共済者）の年齢は99歳までとなっていますので、ご高齢の方も安心して農作業を行えます。

2

ケガで入院・通院された場合、ケガの部位・症状に応じて共済金の額が決まりますので、スピーディーに共済金をお支払いできます。また、治療または施術を受けている期間中であっても共済金をお受取りになれますので、当座の費用にあてることができます。

3

農作業に従事する方の範囲に応じて、本人のみ保障タイプ、家族保障タイプのいずれか最適なタイプをお選びいただけます。

### 特定農機具傷害共済

ご契約時に指定された農機具によって生じた事故により、その農機具を使用した方がケガをされたり、死亡されたりした場合に共済金をお支払いします。



1

保障の対象になる方（被共済者）の年齢に制限はありません。

2

保障の対象になる方（被共済者）はその農機具の使用によりケガをされた方などとなりますので、ご契約時に指定する必要はありません。



ご契約できる  
農機具(例)

●乗用トラクター ●自走式スピードスプレヤー  
●自走型コンバイン ●歩行用トラクター ●草刈機 ●脱穀機  
●田植機 ●乾燥機 ●精穀(米)機 など

お問い合わせは… 最寄りのJAへ

【18209990005】